

金沢大学 大学院 自然科学研究科

後期3年博士課程のみの新しい形の総合大学院として金沢大学にも昭和62年に発足した自然科学研究科について紹介することにしましょう。

この自然科学研究科は、最近の社会の要請に応えるべく、自然科学の分野を広く学際にも及ぶ総合的な研究として把えるために生まれた研究機関です。組織は既存の研究態勢にとらわれず全学の中で自然科学の研究・教育に携っている教官の参加をえて、自然科学の分野を新たな観点から再編しました。

物質科学専攻、生命科学専攻、システム科学専攻の3つの分野からなっています。このうち私が所属しているシステム科学専攻は、システムを構成する個々の要素とその全体とのつながりの仕組みを総合的に研究し、新しいシステムを創り出そうとする新しい学問分野で、理論的解析と巨大システムの創造開発をも志向するものです。

システム基礎理論
電子・情報システム
複合創成システム
設計・生産工学
エネルギーシステム
社会基盤工学

の6つの講座がおかれています。このうちOR・応用数学と深い関連のあるシステム基礎講座について少し詳しくその研究内容とスタッフを紹介しておきましょう。

前に述べましたように、既存の学部にとらわれず再編した組織ですので、学生も自然科学の全分野の修士課程を修了した人、それと同等の学力があると見なされる人すべてを受け入れております。

各自がこれまで研究してこられたことを基礎にして、総合的な視野でさらに研究を進めてみたいと思われる熱意のある方を大いに歓迎いたします。(久志本 茂)

システム科学専攻

講座	研究内容		担当教官
	研究分野	概要	
システム基礎理論	確率過程論	種々の局面に現われる基本的な確率過程の構成とその性質の研究、並びに隣接分野との関連の研究	土谷正明 (教授)
	関数方程式論	擬微分作用素、楕円型偏微分方程式並びに変分不等式及び数理論理学に現われる非線形偏微分方程式の研究	林田和也 (教授) 松村昭孝 (助教授)
	実解析学	フーリエ解析と確率論の極限定理との関連の研究、及び直交多項式展開のマルチプライヤーの研究	勘甚裕一 (助教授)
	複素解析学	1変数及び多変数解析函数論、特にリーマン両面の解析写像、有理型函数と正則写像の値分帯理論、及び種々の特殊函数とその隣接分野との関連の研究	新濃清志 (教授) 喜多通武 (助教授)
	大域解析学	可微分多様体上の解析学、特に開いた多様体上の解析学を幾何学的性質との関連で考察する。	北原晴夫 (教授)
数理計画	システムの計画のための数理技法とシステム技法に関する理論的、実証的研究	久志本 茂 (教授) 木俣昇 (助教授)	